

飛躍

TOKAI UNIVERSITY FUZOKU TAKANAWADAI SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第247号



東海大学付属高輪台高等学校 学校報

●発行日/2006年9月1日

●発行者/東海大学付属高輪台高等学校 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body vigorous in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

来春の中等部開校に向けて募集活動始まる

中等部生徒募集要項決定

中・高・大一貫教育に向けての学校運営方針発表



建学の精神に則って全人教育を目指し、 生徒の夢が実現できるような学校作りをします。

来春の中等部開校にむけて、募集活動が始まりました。4月には中等部第1期生が入学してきます。新入生は本校での中学生活にどのようなことを期待しているのでしょうか。ある生徒にとっては、徹底的に勉強して6年後の希望の進路をかなえることかもしれません。また、先輩のみなさんにならって部活動に熱い汗を流しながら、歯を食いしばってがんばろうと思っているかもしれません。また、たくさんの本を読むこと、あるいは、たくさんの友達をつくることと考えているかもしれません。

このような心身共に成長過程にある生徒に対して、本校は本学園の建学の精神に則って、高校生同様、知識偏重に陥ることなく、徳(思想)・体(体躯)・知(知能)

のバランスのとれた全人教育を目指します。現在問題となっている詰め込み式の受験勉強を生徒に課したりすることはありません。希望を星につなぎ、大きな夢を抱き、高い目標を掲げて欲しいと願っております。そして、希望がどれほど高いものであろうとも、生徒自身があきらめることなく実現に向けて努力できる学校づくりをしまいたい。

高校生の皆さんは、先輩として、中学生をいくつかとってください。学校生活および部活動などでも正しく導いて、中学生の模範となるよう心がけてください。

大きな目標・期待をいだいて入学しようとする中学生に、これから本校が、どのような教育活動を目指していくかを3頁で紹介いたします。

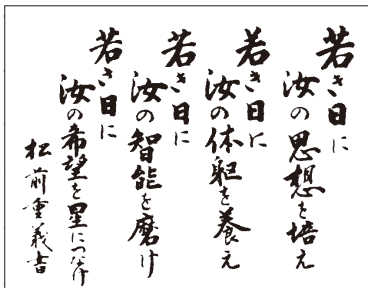
2007年度 高輪台高等学校中等部 生徒募集要項

	第1回入学試験	第2回入学試験													
募集人員	50名(男女)	30名(男女)													
出願資格	2007年3月小学校を卒業見込みの者で、保護者と同居している者														
出願方法	本校へ直接持参し提出する。														
出願期間	2007年1月20日(土)～1月31日(水) 月～金 午前9:00～午後3:00 土 午前9:00～午前12:00 日 受付業務はしていません。	2007年1月20日(土)～2月2日(金) 月～金 午前9:00～午後3:00 土 午前9:00～午前12:00 日 受付業務はしていません。													
出願書類	1. 入学願書 2. 小学校第6学年2学期(2学期制の場合は前期)の成績表の両面コピー														
入学検定料	25,000円(銀行振込)														
試験日	2007年2月1日(木)	2007年2月3日(土)													
試験科目	<table border="0"> <tr> <td>国語</td> <td>50分</td> <td>100点</td> <td rowspan="4">いずれも記述式</td> </tr> <tr> <td>算数</td> <td>50分</td> <td>100点</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>30分</td> <td>50点</td> </tr> <tr> <td>社会</td> <td>30分</td> <td>50点</td> </tr> </table>		国語	50分	100点	いずれも記述式	算数	50分	100点	理科	30分	50点	社会	30分	50点
国語	50分	100点	いずれも記述式												
算数	50分	100点													
理科	30分	50点													
社会	30分	50点													
選抜方法	上記試験と人物評価等との総合判定による。														
合格発表日	2007年2月2日(金)午前10:00～午前11:00	2007年2月4日(日)午前10:00～午前11:00													
入学手続日	2007年2月2日(金)午前10:00～午後3:00 2007年2月3日(土)午前10:00～午後1:00	2007年2月4日(日)午前10:00～午後3:00 2007年2月5日(月)午前10:00～午後1:00													
手続時の納入金額	<table border="0"> <tr> <td>1. 入学金</td> <td>280,000円</td> </tr> <tr> <td>2. 施設費</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>380,000円</td> </tr> </table>		1. 入学金	280,000円	2. 施設費	100,000円	合 計	380,000円							
1. 入学金	280,000円														
2. 施設費	100,000円														
合 計	380,000円														
入学後の納入金額	<table border="0"> <tr> <td>1. 授業料</td> <td>384,000円</td> </tr> <tr> <td>2. 教育運営費</td> <td>114,000円</td> </tr> <tr> <td>3. 建設協力費</td> <td>60,000円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>558,000円</td> </tr> </table>		1. 授業料	384,000円	2. 教育運営費	114,000円	3. 建設協力費	60,000円	合 計	558,000円					
1. 授業料	384,000円														
2. 教育運営費	114,000円														
3. 建設協力費	60,000円														
合 計	558,000円														
注 意	<ol style="list-style-type: none"> 上記学費の他、学園維持費、生徒会入会金、生徒会費、後援会入会金、後援会費、部活動後援会入会金、部活動後援会費、行事等積立金等の納入金として、168,586円が必要となります。 納入は、4月・7月・11月の3期分納となります。 校舎・総合グラウンドの施設・設備充実のため任意の寄付をお願いしています。 														

2006年度学校運営方針 学校改革・改善③

東海大学付属高輪台高等学校中等部の設置

希望を星につなぎ、夢は大きく、目標は高く掲げられる生徒を



創立者松前重義博士の「建学の精神」は、普遍的な真理として多くの若者を励まし、勇気づけて来ました。飛躍に登場する「活躍する卒業生」を始め、本学園に関係する多くの人々の中に脈々と生き続けています。中等部の生徒諸君にもこの精神が受け継がれ、そして、この理想を実現させて欲しいと願っています。

本校が目指す教育活動

一貫教育を通して、大きな夢を生徒自身がつかむための教育実践

中等部・高校・大学の10年間の一貫教育を通して、「現代文明論」を柱とする授業やホームルーム活動で正しいものの見方、考え方を培（つちか）います。その精神のもと、さらに、部活動や色々な学校行事の中で身体を鍛（きた）えます。

生徒主体・生徒参加型の授業では「なぜ？」から始まる自発的な、学び、を身につけるようにします。そして生徒自身が希望を星につなぎ、大きな夢を持ち、目標を高く掲げその目標に向かって努力するような教育を実践します。

少人数制による充実した英語教育と、特徴ある理数科教育を展開

本校は英語教育に力を注いでいます。このため、中等部・高校合わせて6名の外国教員と18名という優秀な日本人教員がいます。少人数制の英語学習を通して、国際性豊かな教育を展開します。そのような体制の中で、中等部卒業までに英検3級、準2級の資格獲得を目指します。また、生きた英語力を身につけるために海外研修等の行事も行います。

さらに、高校は文部科学省からSSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）の指定を受けています。SSHとの連携で最先端の科学技術に触れながら、特徴ある理数科教育を展開いたします。

学習成果を行事につなげる教育の中から、学び方を身につける指導

教員全員が中等部・高校の両方の授業を受け持ちます。よって中等部と高校教員は常に連携をはかることができます。こうした6年間の一貫教育のなかで中等部と高校が学校行事の大部分を同時に行います。学習の成果を行事につなげるという教育の中で、生徒は自ら学び方を身につけます。その結果、生徒は学ぶ目的や将来の生き方を自ら考え、問題解決能力や学習への主体的、創造的な態度を身につけることと思います。

スポーツ、文化、芸術などの部活動を通じ、充実した中等部の生活を実現

原則として希望者全員が上級学校の東海大学付属高輪台高等学校に進学出来ます。そのため、中等部が、高校受験の予備校化することはありません。したがって、3年間、スポーツ、文化、芸術などの部活動や趣味を活かし、本当に自分がやりたい事にじっくり取り組み、充実した中等部生活が送れます。

■ 2007年4月、港区では初めての中高大10年間の男女共学一貫教育校として、中等部がスタートいたします。その1期生として、新入生が、新しい歴史を生み出してくれる事を期待いたします。

第一回 高輪カップ 開催

参加校37校・参加選手461名 熱き戦いが本校アリーナに響く

来年度、本校中等部が新設されます。それに伴い、都内・近県中学校の部活動に呼びかけ、中学生の競技レベルの向上と、部員間の交流の場として『高輪カップ』を今年度より創設致しました。中学生が大きな夢を抱いて、切磋琢磨し、レベルアップに励み、この高輪カップを目指して欲しいと願っています。競技種目は、男子卓球、女子卓球、男子バレーボール、男子バスケットボール、女子バスケットボールの5種目です。

7月9日の男女卓球試合を皮切りに順次本校アリーナで熱き戦いが展開しました。優勝校には高輪カップが授与されました。(男子バスケットボールの結果は10月号に掲載します。)

	男子卓球	女子卓球	男子バレーボール	女子バスケットボール
優勝	江東区立深川第七中学校	習志野市立第一中学校	目黒区立東山中学校	杉並区立荻窪中学校
準優勝	墨田区立文花中学校	江東区立深川第七中学校	大田区立大森第二中学校	足立区立第九中学校
3位	葛飾区立深沢中学校 世田谷区立四ツ木中学校	江東区立深川第五中学校 さいたま市立常盤中学校	足立区立蒲原中学校	大田区立鈴ヶ森中学校 板橋区立高島第一中学校



卓球の部

顧問 細田 功

卓球競技の部には、東京・千葉・埼玉から男女合わせ21校、のべ29チームが参加しました。男子は予選リーグを行い、上位2チームによる決勝トーナメント、女子は5チーム(高校生チームを含む)によるリーグ戦形式で試合が行われました。どのチームも練習の成果を十分に発揮し、ハイレベルの白熱した試合が展開されました。

男子バレーボールの部

監督 田中 正行

開場と同時にたくさんの中学生在、アリーナに集まってきました。高校生に比べると体が細く、背もまだ伸びきっていない選手たち。ところが試合中の姿は非常にたくましく、ボールを追う一生懸命な姿にはとても感動しました。どのチームもレベルが高く、白熱した試合を展開していました。本校の生徒たちにもよい刺激になったようです。



女子バスケットボールの部

監督 高橋 佑未子

女子バスケットボール部門は、歴代の部長・副部長の出身チームを中心に参加を呼びかけました。それぞれのチームに良さがあり、中学生の最後まで諦めずに全力を尽くすプレーに、本校の生徒達もパワーをもらいました。選手・保護者約400人が一体となり応援をし、アリーナは熱気に包まれました。特に決勝戦では、最後まで勝敗が分からないほど白熱した戦いとなりました。



■閉会式では、杉校長が1・2年生の参加選手たちに対して、「来年もここ高輪カップでお会いしましょう」と、呼びかけました。来年の再会を誓い合い、熱戦の1日が終わりました。



夏休みの活動報告

1回戦敗退。天国と地獄を見た思い

野球部主将 磯貝 亮太
3年5組 蕨市立東中学校出身

試合結果

1回戦 対 都立小山台高
1-3



夏の大会は3年生にとって最後の大会故、メンバーに入れなかった3年生や他の部員のためにも、絶対悔いのない大会にと強い気持ちで試合に臨みました。しかし、結果として初戦で敗れてしまいました。焦れば焦るほど空回りをして試合終了の合図にはただ茫然自失でした。春の大会では、厳しい試合もチーム全員の力で勝ち進み、1試合ごとに強くなっていることを実感し、ベスト16という結果を残し、夏の大会のシードを得ました。それ故、この数カ月の間に天国と地獄をみたような気がします。この数年、素晴らしい環境を整えて下さいました学校に、監督、コーチ、そして保護者の方々に報いることが出来なかった事が悔やまれます。新チームは頑張ってくれることと思います。応援よろしくお願いします。最後に夏の仲間へありがとう。

この夏を教訓に強靱な野球部を

野球部監督 宮島 孝一

よもやの初戦負け。試合終了と同時に申し訳ないと思った。3年生にとっては本当に激動の2年半だった。ポジションを脅かそうとする後輩の台頭。勝利へのプレッシャー。入部時の雰囲気とは天と地ほど開きのある苦悩の連続によく耐え、努力してくれた。1年冬のネット改修工事中には食堂で高さ10cmはあろうかという丼飯2杯を毎日の

ように食べ、2年次には足が立たなくなるまでタイヤを押し、そしてスイングを重ねてきた。その結果、14年ぶりとなる夏のシード権獲得という勲章の一つ手に入れた。

きっとどこかに甘えがあった。秋・春とは異なる夏の恐さをみんなが忘れてしまっていた。今夏こそ思い通りの成績ではなかったが、実は過去2年のベスト16、今春のベスト16(夏シード)と、少しずつだが確実にステップアップしている。それほどたやすくはないと教えてくれた短い夏を教訓に、強靱な高輪台野球を創り上げていきます。引き続きご声援をお願い致します。

ミスダンスドリル日本大会で5位! そして人としての大切な事も学びました

ダンス部 星 久美子
3年8組 私立八雲学園中学校出身

私たちは、7月31日に行われたミスダンスドリル日本大会に出場しました。

会場である代々木第二体育館はとても大きく、今まで味わったことのない緊張感が漂っていました。しかし、みんなで踊りを楽しもうという気持ちで臨み、自分たちのダンスを笑顔で踊りきることができました。予選を含め大会までの約4カ月間、たくさんの出来事がありました。辛い事、悲しい事が数多くあり、大会に出場できるのか不安に思った事もありました。またチーム内がまとまらず、振りが揃わず、先が見えない日々もありました。しかし、このような不安や苦悩を、私たち17人が1人も欠けることなく乗り越えてこれたのは、私たちを応援してくださった方々の期待に応えようという強い気持ちがあったからです。

そして、今回の大会で私たちは踊りの他にもたくさん

の事を学びました。感謝の気持ち、責任感、協調性など、人として大切な物を得られたと思います。

私たちダンス部はまだまだ未熟です。高校生としての立場をしっかりとわきまえ、生活面でも成長していきたいです。今回の大会で学んだ諸々の事を無駄にせず、さらに上を目指して努力しようと思っています。たくさんの応援をありがとうございました。



SSH活動報告

7月22日から3泊4日で、1年SSHクラス48名が夏季科学体験学習旅行をしました。見学先は静岡県の東海大学開発工学部沼津校舎、愛知県のスターフォレスト御園・トヨタ産業技術記念館、岐阜県の瑞浪市化石博物館・核融合科学研究所、長野県の国立天文台野辺山です。また、7月26日から2泊3日で、SSH指定の関東4校（本校、都立戸山高等学校、千葉県立柏高等学校、芝浦工業大学柏高等学校）が、東海大学の海洋調査研修船『望星丸』を利用しての合同海洋実習を行いました。

エネルギー問題と地球温暖化を解決してくれる プラズマ核融合発電

賀来 大介

1年11組 大田区立東調布中学校出身

私にとってこの科学体験旅行は「あっ!!」と、言う間に過ぎた4日間でした。なぜならどの訪問先もとても興味深かったからです。中でも一番興味を持ったのは、核融合科学研究所でのプラズマ核融合発電です。今、世界はほとんどが化石燃料を燃やして発電をしています。しかし、何かを燃やすということは二酸化炭素を出し、地球温暖化の原因になります。同時に、化石燃料に限りがあることも問題です。この二つの問題を、同時に解決できる最も有力な方法がプラズマ核融合発電なのです。まだまだ多くの問題を抱えているプロジェクトです。しかし、成功すればエネルギー問題と地球温暖化の両面が解決するために、より豊かでより快適な暮らしが訪れるでしょう。

だから私は、SSHの授業を通して、プラズマ核融合発電の日本の最先端技術や考えを学んで、いつかはそれに携わっていきたいです。



プラズマの発生・閉じ込めを行う大型ヘリカル装置(LHD)の見学

夏季科学体験旅行に先輩として参加

出口 早美

2年10組 川崎市立平間中学校出身

私は、1年生のアシスタントとして科学体験旅行に参加しました。まだ梅雨も明けず、あいにくの天気でしたが、去年とは違った体験が数多くできました。

3日目の夜、宿舎の会議室でプレゼンテーションの研修が行われました。私達2年生は、昨年の経験を思い出しながら1年生の指導にあたりました。1年生は、この旅行で得たことを思い出しながら原稿を考え、発表の練習をしていました。去年の私達よりも、一人一人が自分の言いたいことを伝えようとしていました。ジェスチャーを交え、みんなの前でプレゼンテーションしている子もいて驚きました。

今回の旅行は、いろいろな場所を訪問して、たくさんの科学技術を学ぶことができました。同時に、1年生と交流することができ、私にとってとても充実したものとなりました。これからも、1年生に負けないように、いろいろなことにチャレンジして頑張っていきたいと思います。



プレゼンテーションの研修の様子

『望星丸』に乗船して海洋生物を見る

芳賀 俊紀

3年11組 横浜市立新羽中学校出身

僕は今回初めてSSHの校外活動に参加し、望星丸での実習を行いました。

場所は静岡県沼津の海です。CTDという深海の水を汲み取る機械を使った実習では、実際に深海の水に触れることができ、その感触は深淵な未知の海そのものでした。また、場所や水の深さによって同じプランクトンでも姿・形が違うことに驚きました。一口にプランクトンと言っても種類がたくさんあって、海洋生物の奥深さを感じ勉強になりました。また、今回の海洋実習では他のSSH指定校の生徒と共に実習し、大いに刺激を受けました。

今回の実習はそのほとんどが初体験でした。船に乗る機会もなく、ましてや海洋生物でもあるプランクトンのことも全く知りませんでした。しかし、実習によって見識が広がりました。今回得られた知識を糧に自分の実験を進めていきたいです。



海洋調査研修船『望星丸』での実習

研修旅行のスナップ

本校生徒のマナーの良さを この上ない言葉でほめて頂く

6月、4グループに別れての2年生の研修旅行が無事終了しました。旅先では、研修旅行の目的を忘れ、とかく開放感で他人に迷惑をかけたりするもの。しかし、オーストラリア研修旅行では、本校生徒のマナーの良さに感動したと、見ず知らずの紳士から、引率教員が手紙をいただきました。生徒たちが親善大使の役と、この上ないお褒めの言葉でした。他のグループはどうでしたか。ここに全文を紹介します。



To the school tour leader

I was a passenger on flight DJ217 Sydney to Brisbane on 22 June 2006.

I observed the children at the terminal, on the concourse and whilst embarking and departing the aircraft.

Permit me to communicate high compliments to the school for the impeccable manners and behavior of the children and their leaders during this flight.

In their presentation, style and interactions with other passengers, in a foreign country, they were very good ambassadors for your school and your country. You should be proud of them.

私は、6月22日のシドニー発ブリスベン行き、バージン・ブルー217便の乗客だった者です。

空港のコンコースで、子ども達が搭乗して出発するのを見ておりました。

学校に、機内での子ども達と指導者の申し分ない行儀の良さと行動に対して、敬意を伝えていただきたいと思います。

彼らは、海外での行動において、品の良さや他の乗客との対話により、あなたの学校や国の大変立派な大使であったと思います。是非、彼らを誇りに思ってください。

高輪短大 INFORMATION



自ら思考する力を育てる

情報・ネットワーク学科助教授 長城 巖

大学の勉強において、将来にわたって社会に通用できるように、与えられた問題の正解を覚えるような勉強ではなく、自ら問題を発見して、その解決法を自らの力で見つける思考力を育てなければな

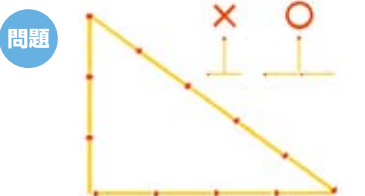
りません。このような観点に基づいて、東海大学短期大学部では、「創造力セミナー」という科目を開設しました。この科目の授業では、社会発展や技術進歩に関するテーマについて、少人数受講生によるディスカッションを行います。私は、この「創造力セミナー」で、“本を読もうー「緑の世界史」”というテーマで開講しています。本は思考のメディア

です。テレビやラジオのような発信側の都合でどんどん進むことがなく、読者が主体的に読みたいときに読む、考えたいときに考えることができるからです。また、「緑の世界史」という本は、地球という自然の中から、人類の歴史を見つめ、人間と自然の関係、進歩とは何か、人類はどこに向かうべきかなど問題を提起しています。毎回授業するたびに、学生の皆さんの熱心な問題探求の学習姿勢に、多くの感動を覚えております。

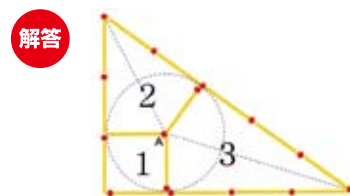
お知らせ

***** ホームページ『飛躍』の読者の声より *****

238号(2005年11月1日発行)の『SSH活動報告』の【問題】の正解を教えてくださいとありました。遅くなりましたが、問題と解答をお知らせ致します。



問題
図のマッチ棒3本、4本、5本でできた直角三角形の面積が、1:2:3の比に分割されるようにマッチ棒を追加して並べよ。ただし、マッチ棒は端どうしが必ず接するものとし、追加するマッチ棒の数は少ないほど良い。



解答
図のように3辺に垂直にマッチ棒を置くと、点Aで3本の端が接する。(点Aを三角形の内心という)このとき、三角形の面積は1:2:3の比に分割される。

行事予定

September 9月

- 1日(金) 避難訓練、朝礼
- 5日(火) 外部実力試験(1・2年)、**学園基礎学力総合試験(3年)**
- 7日(木) 学年集会(3年)
- 13日(水) 専門医によるカウンセリング
- 14日(木) 校医相談日(16:30~17:30)
- 15日(金) 中学校巡回、**生徒自宅学習日**
- 18日(月) **敬老の日**
- 19日(火) 期末試験(~22日)
- 23日(土) **秋分の日**
- 25日(月) 採点日(**生徒休業日**)
- 26日(火) **第5回体育祭**(雨天時振替休日)
- 27日(水) 答案返却
- 28日(木) 生徒休業日
- 29日(金) 成績不振者指導(生徒休業日)
- 30日(土) 保護者会(全学年)

October 10月

- 2日(月) **後期始業式**・後期授業開始
中学校教員学校説明会・塾教員学校説明会
- 3日(火) 体育祭予備日(振替休日)
- 4日(水) **建学祭開祭式**(7時限目)
- 5日(木) 建学祭準備・学校保健委員会・校医相談日(13:30~17:00)
- 6日(金) 建学祭準備
- 7日(土) **第42回建学祭(~8日)**
- 9日(月) **体育の日**
- 10日(火) **建学祭閉祭式**
- 11日(水) **移動教室**(~11/20)、専門医によるカウンセリング
中学校教員学校説明会、保護者面談(2年、~11/20)
- 14日(土) 英検(9:00~12:00)
- 15日(日) 受験生・保護者学校見学会
- 19日(木) 東海大学進学説明会(1年、1時限目)
教育実習②(~11/10)
- 26日(木) 学年集会(1年)

研修旅行(2年)の様子



編集後記

夏が終わる。トスティの歌曲に「夏よさらば」がある。恋をした太陽の季節、青春を燃焼した夏が終わると歌う。確かに、メロディーを口ずさむと一抹の寂寥感を抱く。夏は高校野球。野球少年の誰もが憧れる甲子園である。しかし、その道は何と険しいことか。甲子園を目指した野球部キャプテン磯貝君の「天国と地獄を見た」という短い文章に、シード校であったのにという悔しさ、一回戦での敗退のショック、期待に沿えなかった悔しさ、申し訳なさなどが滲み出ている。涙を流し、天を仰ぎ、そして一文を書いてくれた。ありがとう。まったく、勝負の女神は残酷である。片方は歓喜の渦に、片方は声を押し殺して涙する。見ている方まで、感極まり涙する。しかし、文武両道の精神で頑張った。これもまた青春。野球部だけではなく。3年生の夏が終わる。空にはもう、秋の雲が。(ゆ)

東海大学付属高輪台高等学校

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>